



一般社団法人セーフインターネット協会

Safer Internet Association

誹謗中傷ホットライン 活動報告
(2022年1月1日～2022年6月30日)

誹謗中傷ホットライン

オリンピック、パラリンピックに出場しているアスリートの皆様からのご連絡も受け付けております。誹謗中傷の被害でお困りの方はお気軽にご連絡ください。

新型コロナウイルス感染者及びそのご家族に対する心無い投稿や、医療従事者及びそのご家族に対する差別的な投稿など、新型コロナウイルスに関連する誹謗中傷被害にお困りの方もお気軽にご連絡ください。

ネットの誹謗中傷

の被害にあわれたら

一人で悩まず
以下の対応を検討してみませんか？



- ネット上で誹謗中傷に晒されている被害者からの連絡を受け、コンテンツ提供事業者に、各社の利用規約に基づき削除等の対応を促す通知（以下、通知）を行う
- 立場の弱い私人や個人商店等が対象
- 被害者が児童/生徒の場合には、保護者や学校関係者からの連絡も受け付ける
- 2020年6月29日運用開始
- 新型コロナウイルス感染症罹患者やアスリートに対する誹謗中傷も対象

 <p>投稿の削除</p> <p>誹謗中傷ホットラインへの連絡</p>	 <p>悩みの相談</p> <p>相談機関のご紹介</p>	 <p>警察への通報</p> <p>最寄りの警察署</p>
--	--	---

誹謗中傷ホットラインへの連絡



誹謗中傷ホットラインが国内外のプロバイダ等に利用規約に沿った削除等の対応を促す通知を行います。

[誹謗中傷ホットラインに連絡する▶](#)

※連絡を行う前に、「連絡にあたって」「FAQ」を一読ください

連絡件数

誹謗中傷ホットラインが2022年1月1日～6月30日までの間に受理した連絡件数は1,157件。
 前年同期（1,318件）から161件減少。
 推察の範囲内ではあるが、昨年2021年下半期より侮辱罪の厳罰化の検討が行われるなど、
 誹謗中傷対策が活発となったことが減少要因の1つと考えられる。

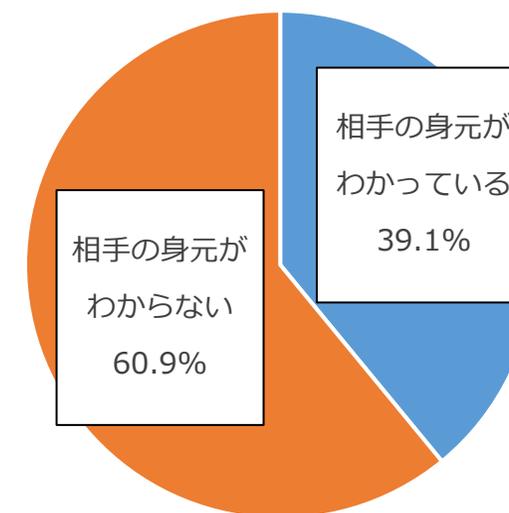
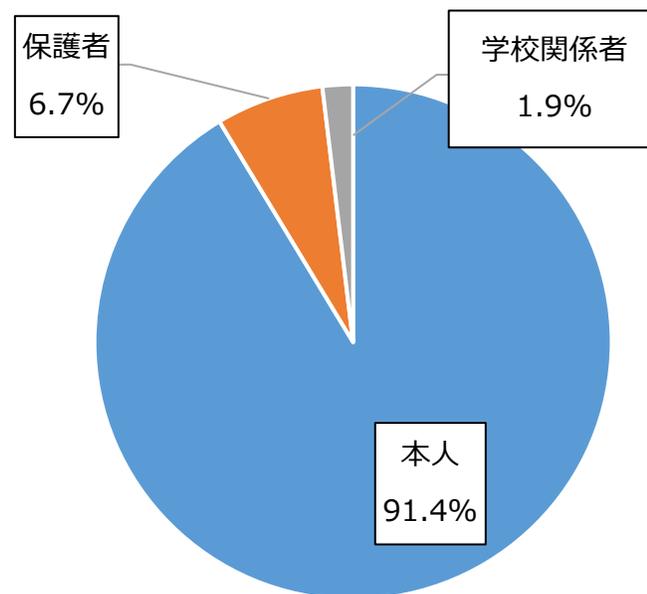
◆件数
1,157件

◆人数
738名

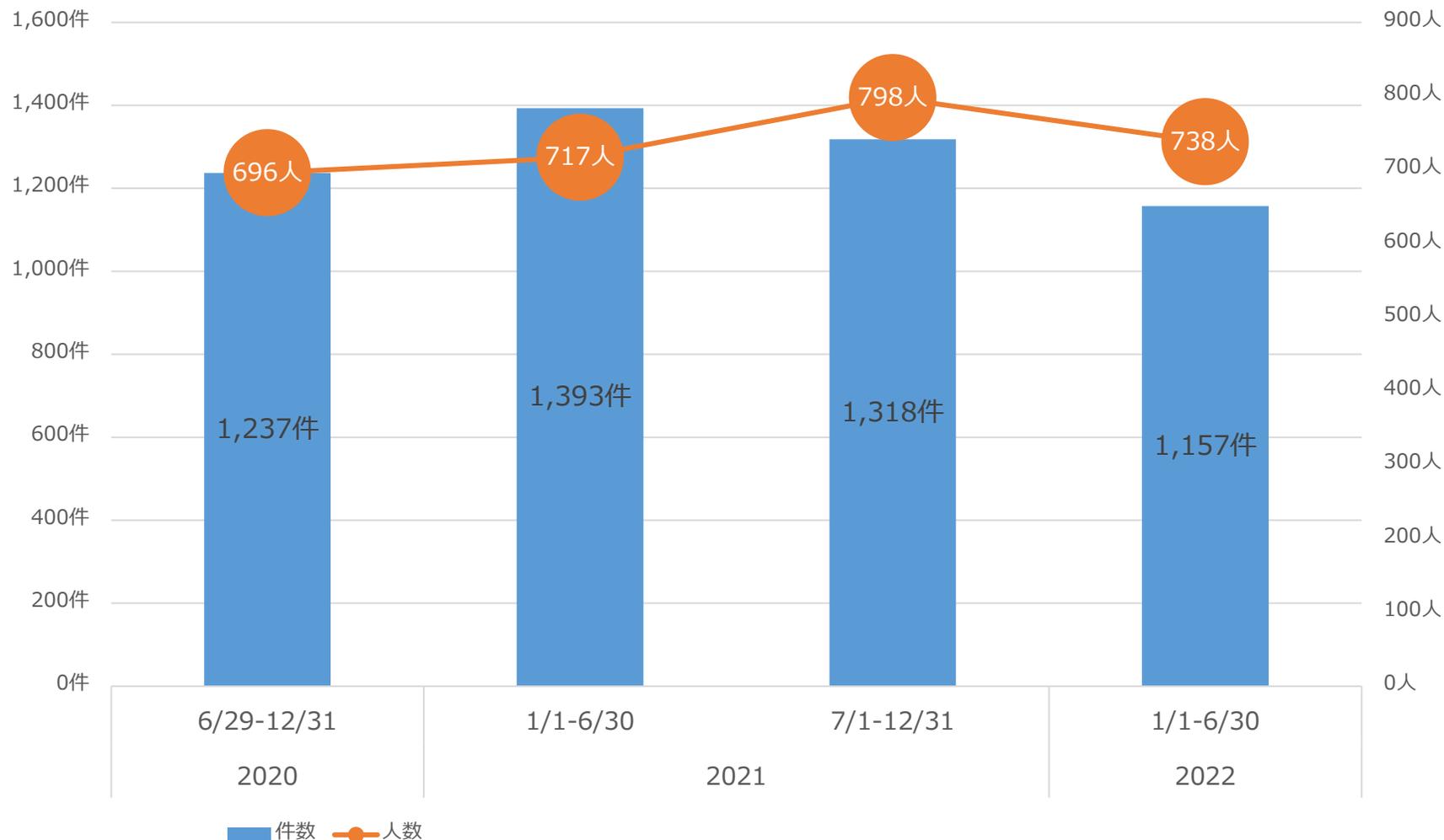
◆属性

本人	1,057件 (679名)
保護者	78件 (40名)
学校関係者	22件 (19名)

誹謗中傷を受けた本人と相談者の関係 書き込んだ相手を認識しているかどうか

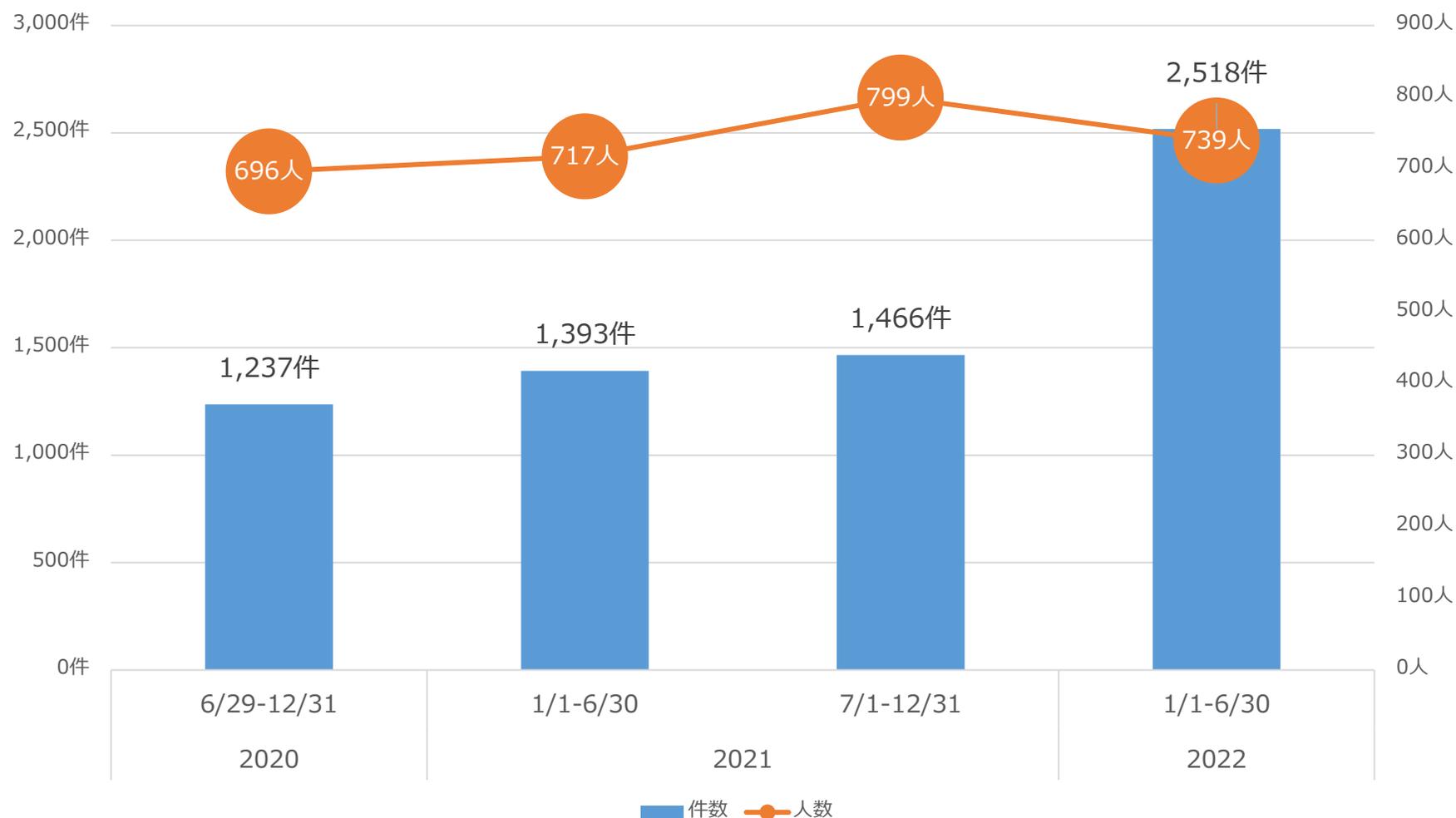


連絡件数（6ヶ月比較）



注：対象外理由を示し、対応できない旨をご連絡したにも関わらず、その後も大量に同一種類の申告が寄せられた件数を除外した申告数

参考：連絡件数（6ヶ月比較）※



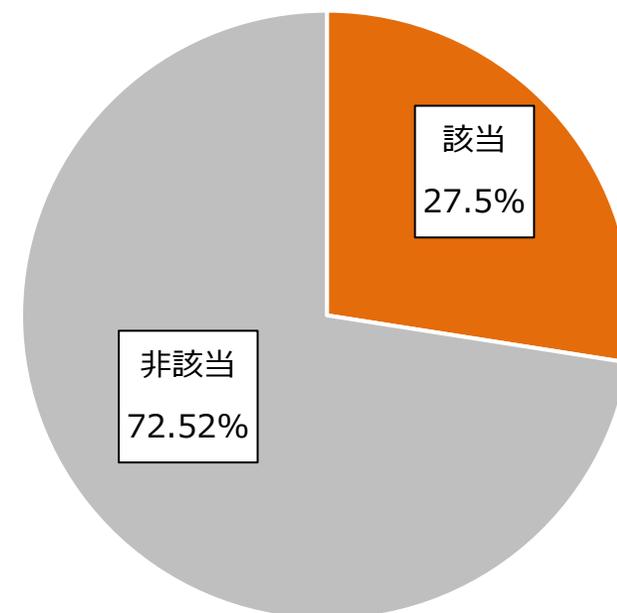
※ 前項で除外しなかった場合の連絡件数

誹謗中傷情報の該当性

連絡のあった1,157件の中で誹謗中傷情報に該当したのは318件（27.5%）であった。
 前年同期（29%）と比較では横ばいの状態。
 非該当となった案件としては「実在の個人が特定できない」ケースが多い。

- ◆ 該当 318件
- ◆ 非該当 839件

特定誹謗中傷情報該当性



主な非該当理由（※複数該当を含む）

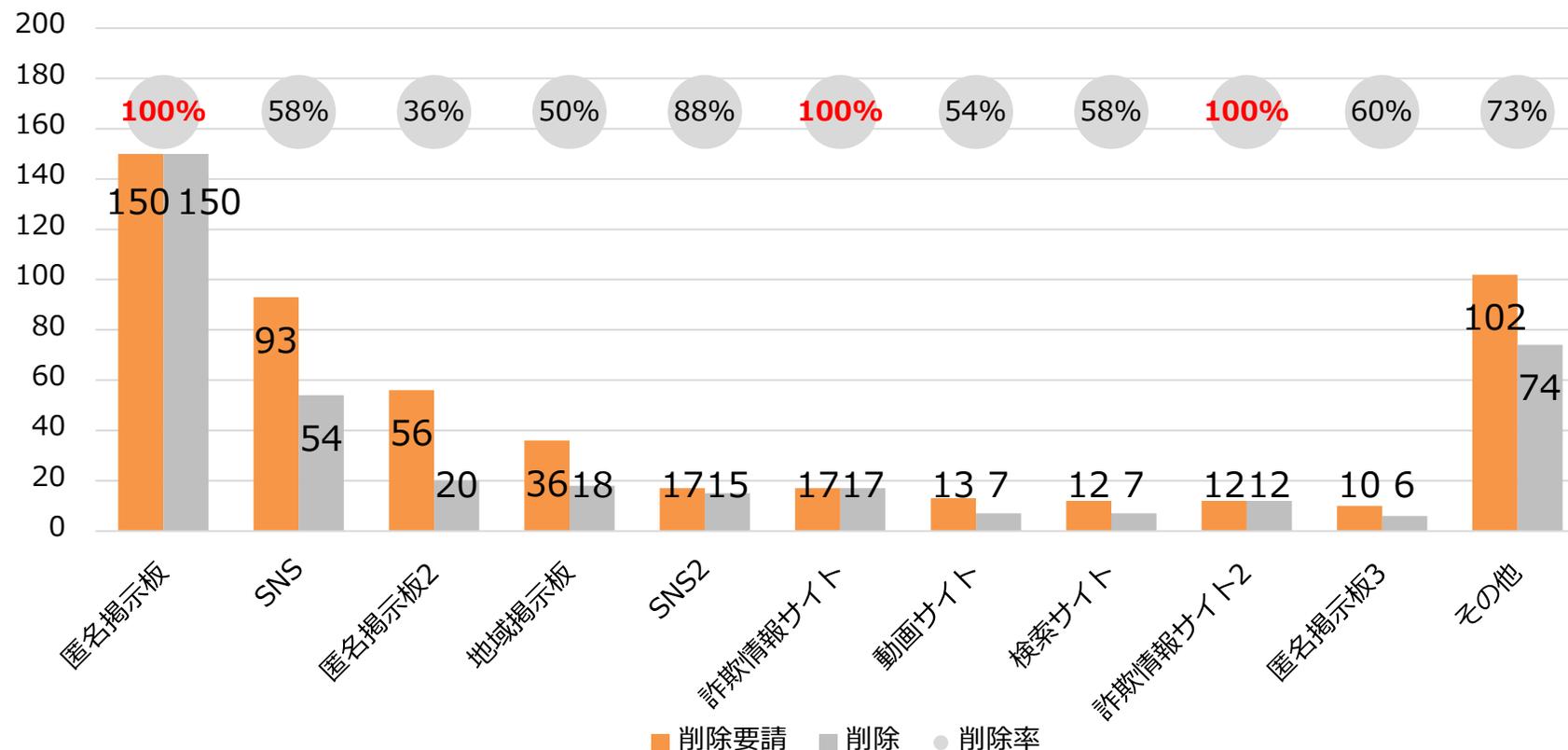
実在の個人が特定できない （ハンドルネーム等で実在の個人が特定できない等）	291件	34.7%
公共公益目的でないことが明らかとはいえない	38件	4.5%
社会的評価が低下する内容や侮辱的な内容とはいえない	84件	10%
内容不明（連絡者指定の投稿を特定できない等）	217件	25.9%
その他 （被害者本人ではない、企業からの連絡、内容重複等）	209件	24.9%

通知結果

各社の利用規約に基づき削除等の対応を促す通知を行った結果、誹謗中傷情報の削除が行われたのは380URL、削除率は73%であった。

- ◆ 該当数
318件
- ◆ 通知数
518URL
- ◆ 削除確認
380URL
- ◆ 削除率
73%

単位「URL」



「該当」案件1件につき複数の通知を行う場合があるため、「該当数」と「通知数」は異なる

通知を送付したサイトの属性

誹謗中傷情報に該当したため、各社の利用規約に基づき削除等の対応を促す通知を行ったコンテンツ提供事業者の属性としては、匿名掲示板が48%と多数。次いでSNSが18%を占める。

